

第54回 指定都市市長会議



持続可能な都市・脱炭素社会に向けた イクレイとの連携について



令和4年7月19日



京都市

イクレイ (ICLEI) について

イクレイー持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会-

(ICLEI : International Council for Local Environmental Initiatives)

- 持続可能な社会の実現に積極的に取り組む自治体及び自治体連合で構成された国際的な連合組織 (1990年設立)
- 国連の公認団体として活動し、世界2,500以上の様々な規模の自治体が加盟
- 本部 : ドイツ・ボン市

イクレイの目標 : 持続可能な都市と地域を実現する

- 持続可能な都市と地域のモデルをスケールアップし拡大すること
- 住民の長期的利益を守るために、重要な課題に取り組むこと
- “持続性”をすべての地域と世界の発展の基幹に据えること
- 世界的変革のために全ての部門・国・自治体が協力して努力すること 等



イクレイ（ICLEI）の組織体制

■ **世界理事会**（本部：ドイツ・ボン市、会長：米国デイモン市長）

■ **地域理事会（計9地域）**

ヨーロッパ、アフリカ、東アジア（議長：京都市長）、南アジア、東南アジア、オセアニア、北米、メキシコ・中央アメリカ・カリブ諸島、南米（計9地域）

■ **イクレイ日本（日本事務所：東京都）**

2006年～京都市から専任職員を1名派遣

・理事長：竹本和彦氏 事務局長：内田東吾氏

・理事 元世界事務局長、北九州市長、京都市長、東京都知事、武蔵野市長、横浜市長

・会員（22自治体）※うち指定都市の加盟は10都市

愛知県、飯田市、板橋区、岡山市、川崎市、北九州市、京都市、京都府、さいたま市、札幌市、下川町、墨田区、東京都、富山市、豊田市、長野県、名古屋市、浜松市、広島市、松山市、武蔵野市、横浜市（五十音順）

イクレイ（ICLEI）とUrban 7の関わり

Urban 7について

- ・Urban 7 (U7)は、G7各国の都市連合で構成される連合体
- ・**2021年 G7首脳会談及び閣僚会合へ共同して意見を述べることを目的として立ち上げ**
- ・**2022年5月3日 第2回U7市長サミット オンライン開催**

「指定都市市長会」も連合体の一員として、
持続可能な都市・脱炭素社会の実現に向けた都市の役割、
連携について共同宣言を採択

※イクレイの関わり

- ・第1回開催時から事務局と連携し、継続参加
- ・共同宣言の取りまとめをはじめ積極的にサポート

- ・2023年 第3回U7市長サミット開催予定

指定都市が世界的なネットワークを有するイクレイと連携し、
持続可能な都市の実現に向けた取組の実践と、国内外へ
の発信力のさらなる強化を！



イクレイ（ICLEI）が会員都市に行うサポート

1 国内外の自治体・団体ネットワークを自治体の政策に活用

- ✓ 主催する会議や戦略・計画が国際的に評価される内容になっているかなど助言

2 収集・分析された国内外の情報を得る

- ✓ 気候変動や環境問題、持続可能な開発など国内外の取組を情報提供

3 国内外に政策への理解・賛同者を得る

- ✓ COP（国連気候変動枠組み条約締約国会議）などの国際会議で発表する機会を提供

京都市の脱炭素に関する取組を世界に向けて発信！



COP26（日本・英国・欧州パビリオン）にて開催されたセッションには北九州市、京都市、豊田市、長野県、横浜市が登壇

※イクレイへの積極的な加盟をお願いいたします。

<参考> 脱石炭連盟について

脱石炭連盟

(PPCA : The Powering Past Coal Alliance)

- ドイツで開催されたCOP23を契機に、英国政府とカナダ政府の主導により発足（2017年設立）
- 48国、48地方政府・地方自治体、70企業（計166団体）が加盟（※京都市が2021年から日本の自治体として唯一加盟）
- 石炭を含む化石燃料から再生可能エネルギーへの転換の流れを大きなものとするため、石炭火力発電からの脱却の加速化を目指す。

